

福岡県 畜産職 採用案内

**福岡県庁で畜産職として一緒に働いてみませんか？
畜産物の生産拡大など畜産業の振興に関する仕事です。**

仕事内容と主な勤務先

畜産業の振興に関する企画立案や生産技術指導、試験研究の仕事です。
 主な勤務先は、本庁の畜産課、出先機関では、農林事務所、普及指導センター、農林業総合試験場などがあります。

農林事務所

安全な畜産物を安定的に供給できるよう、畜産物の生産拡大や品質向上による経営の安定に向け、畜産農家等が生産機械や設備・施設を導入する際の支援などを行っています。

- 酪農、肉用牛、養豚、養鶏、養蜂等の振興のための補助事業
事務手続きや指導業務
- 畜産物(牛乳、肉、卵等)の流通、価格安定対策事業
- 自給飼料(牧草)の増産、流通飼料の安全性確保や品質改善のための立ち入り検査 など



補助事業で導入した飼料収穫機

普及指導センター

家畜の生産や改良増殖に関する技術や経営の指導を行うため、生産現場に出向き、現場主義をモットーに、普及指導員として直接農業者と接して支援を行っています。

- 畜産農家への個別巡回による飼養管理技術向上や経営改善に向けた指導
- 新規就農者の確保、定着支援や講習会、新技術の実証展示
- 経営の法人化や規模拡大支援、家畜排せつ物の適正処理指導による環境保全対策 など



繁殖牛の放牧風景

農林業総合試験場

畜産農家や関係団体からの要望を受け、「博多和牛」や「はかた地どり」をはじめとした本県畜産物のさらなるブランド力の強化を目指し、高付加価値化や生産性向上につながる技術の開発を行っています。

- 乳牛の繁殖及び飼養管理、飼料作物の栽培及び利用に関する試験研究
- 肉牛の繁殖及び肥育技術に関する試験研究
- 家きんの改良、繁殖及び飼養管理、鳥獣害対策に関する試験研究 など



優良黒毛雌牛からの採卵

若手職員の一曰

case01



入庁5年目
農林水産部畜産課
大家畜係
主任技師

一言メッセージ

福岡県の酪農振興のため、畜産農家の方への補助金交付や飼料作物の振興に関する企画立案などの業務を担当しています。自分が携わった仕事が収量や品質の向上に結びついていることが分かった時には、この仕事を選んで良かったと感じます。

これまでの県歴

入庁～3年目 飯塚農林事務所 技師
4年目～ 畜産課 主任技師

一日の流れ

- 8:30 メールと一日のスケジュールを確認: 農林事務所や関係団体からのメールをチェック、今日中に作る資料などを係内で確認
- 10:00 農林事務所と協議: 酪農振興のための補助金の交付について出先の農林事務所と電話とメールで打ち合わせ
- 13:00 農林事務所との協議結果とりまとめ: 午前中の協議内容について整理、過去の事績などの資料を調査し、係長と相談、情報共有
- 15:30 乳業関係団体の来訪対応: 団体の総会開催に向け来訪された関係者に応対し、相談などを伺う。
- 17:15 明日のスケジュールを係長と確認し退庁

case02



入庁12年目
農林業総合試験場
畜産部
肉牛繁殖チーム
主任技師

これまでの県歴

入庁～3年目 畜産課 技師
4年目 福岡の食販売促進課 技師
5年目～8年目 大阪事務所 主任技師
9年目～10年目 久留米普及指導センター 主任技師
11年目～ 農林業総合試験場 主任技師

一日の流れ

- 8:30 チーム会議(1日の作業予定、懸案事項等)
- 8:45 牛舎にて試験牛の飼養管理(哺育・給餌)、試験牛の体重・体測、血液や肉質超音波画像などのデータ収集
- 11:00 研究棟に戻り、血液成分を測定
- 13:00 撮影した超音波画像の分析と記録
- 16:00 現地農場での試験や調査の実施について、普及指導センターや関係団体と打合せ
- 16:30 牛舎の見回り
- 17:15 明日の作業・試験内容を確認し、退庁

一言メッセージ

福岡県産ブランド「博多和牛」の肉質やブランド力の向上を目指し、超音波による肉質診断技術の開発や、ゲノミック評価を用いた繁殖雌牛の遺伝的改良と肥育牛の評価等に取り組んでいます。

長年、研究に携わってきた上司や先輩から技術を教わりながら、未知の領域を探索することは、非常にやりがいがあります。試験を重ねることで、畜産経営の役に立つ、新たな技術を生み出していきたいです。

先輩職員からのメッセージ



農林水産部 畜産課長

主な県歴
 ・平成5年 入庁
 ・令和5年 畜産課企画監
 ・令和6年～ 畜産課長

県職員として働く私たち畜産職の職員は、県民のみなさんに安全で安心な畜産物を安定的に供給できるよう、家畜の生産や改良増殖、自給飼料の生産拡大、畜産環境の保全、畜産物の流通などに関する仕事を行っています。本庁の畜産課では畜産振興全般にわたる予算の執行や企画立案、各地域の農林事務所と普及指導センターでは畜産農家の経営指導や補助金に関する事務、また、農林業総合試験場では新しい品種や生産・流通技術の開発や環境保全に関する研究などを行っています。

県民の食品の安全性に対する関心が高まる中、高品質で安心な畜産物の安定供給には、ますます大きな期待が寄せられています。情熱とやる気に溢れた皆さんと魅力あふれる福岡県で仕事ができることを楽しみにしています。

人材育成の取組

職層	人事配置の考え方	階層別研修
技師 20代前半 ～20代後半	<採用後10年間（早期人材育成期間）> ○ 本庁と出先機関の人事交流や異なる部門を経験することを基本とした人事配置 ○ 在所年数5年を基本に異動	○新規採用職員研修 ○技師研修 （採用3年目又は5年目） ○主任昇任研修
主任技師 20代後半 ～30代後半	○ 本人の適性を踏まえながら、引き続き、将来のキャリア形成の幅を広げることを意識した人事配置 ○ 在所年数5年を基本に異動	○主任選択必修研修 （主任昇任後5年目）
技術主査 30代後半 ～40代前半		○主査研修
ライン係長 40代前半 ～40代半ば 課長補佐 40代半ば ～50代前半	○ これまでの職務経験や本人の適性等を踏まえた人事配置 ○ 異動の目安は2～3年	○係長研修 ○課長補佐研修
課長級 次長級 50代前半～		○課長級研修 ○所属長研修

このほかにも、業務に関する研修が充実しており、学ぶ機会が数多くあります。初めて体験する業務であっても、心配はいりません！

（農林水産省主催）

- 中央畜産技術研修会：畜産の各分野を網羅する多様な講座メニュー
 - ・畜産行政総合講座：畜産行政推進のための基礎知識について
 - ・新任畜産技術職員研修：畜産技術者としての基礎知識について
 - ・肉用牛生産技術指導者養成講座：効率的生産技術の指導者育成のための講座
 - ・食肉流通専門講座：食肉流通を取り巻く諸状況の認識について
 - ・畜産環境保全専門講座：畜産環境を取り巻く諸状況の認識について など

勤務条件など

勤務時間・休暇

勤務時間は7時間45分が基本です。始業時間は①8時～②8時30分～、③9時～、④9時30分～、⑤10時～の中から選択(1日単位で選択可)できます。

休日は土曜日・日曜日(完全週休2日制)、祝日、年末年始です。年次休暇は1暦年毎に20日あり、最大20日まで翌年に繰り越すことができます。そのほか有給休暇として、特別休暇(夏季(6日間)、結婚、長期勤続、忌引等)、病気休暇の制度があります。

※窓口・施設など部署により、勤務時間や休日異なる場合があります。

給与

初任給およびモデル給与は次のとおりです(令和8年1月現在)。また、期末・勤勉手当(ボーナス)が1年間に約4.65月分支給されます。ただし、これらの額は条例などの改正により変更になることがあります。

<初任給> 本庁勤務の場合

試験の種類	初任給
I類試験(大学卒業程度)	252,000円程度

※職歴・学歴・経験年数により加算される場合があります。

※このほか、通勤手当(原則全額支給)、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。

<モデル給与> 30歳、家賃6万1千円の場合

	I類
基本給	283,600円
地域手当	16,000円
扶養手当(配偶者、子1人)	14,500円
住居手当	28,000円
通勤手当(受給者の平均)	13,300円
合計	355,400円

※このほか、正規の勤務時間を超えて勤務した場合には時間外勤務手当が支給されます。

働きやすい職場を目指しています

・ワーク・ライフ・バランスの推進

毎週水曜日と金曜日、毎月19日(育児の日)を**全庁一斉定時退庁日**としていることに加え、毎年7月及び8月のそれぞれ第3週を**定時退庁推進週間**としています。

さらに、1日の勤務終了後から翌日の勤務開始までの間に原則として11時間以上のインターバル(休息)時間を確保する

「勤務間インターバル」や、年間を通して連続休暇(10日以上)の連続休暇を2回以上の取得を促す

「連続休暇取得促進」の取組みを推進しています。

・子育てしやすい環境の整備

産前産後休暇や育児休業のほか、育児短時間勤務、父親育児休暇、子の看護休暇など、子育て支援のための制度を設けています。

また、本県の独自策として、仕事と育児を両立しやすい職場環境をつくるため、育児休業を取得した職員の業務を分担した同僚職員に対して**勤勉手当の加算**を行っています。(令和6年度男性育児休業取得率は77.1%)

・働き方改革の推進

全ての職員がワーク・ライフ・バランスを実現しながら、それぞれの能力を十分に発揮できる、働きやすい県庁をめざした「働き方改革」を推進しています。特に、慣習にとらわれない若手職員のアイデアを提案として取り入れる「若手職員による業務の見直し」や県の将来の発展に向けて取るべき方向や政策について職員が自主的に研究、提言する「未来への提言」などを通じて、若い職員の発想や提案を積極的に取り込み、県庁の活性化、風通しの良い職場づくりを進めています。

畜産職の業務に関する問合せ

福岡県農林水産部畜産課

電話番号:092-643-3496

メールアドレス:chikusan@pref.fukuoka.lg.jp

試験に関する問合せ

福岡県人事委員会事務局任用課

電話番号:092-643-3956

メールアドレス:saiyo@pref.fukuoka.lg.jp

※このリーフレットは令和8年2月版です。

試験の実施状況や応募方法等、詳しくは県のホームページをご確認ください。

